

## 拠出金名:国際農業開発基金拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				1,817,859千円	
国際機関等名	国際農業開発基金 (英文名称・略称) International Fund for Agricultural Development (IFAD)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局多国間協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レート(注1)	ODA率(%)
平成19年度	1,817,859	16,500		1米ドル = 110.1733円	100
平成18年度	1,817,859	16,500		1米ドル = 110.1733円	100
平成17年度	1,828,005	15,000		1米ドル = 121.867円	100
当該拠出金の目的・用途等	農村開発等				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (第6次増資までの累計(注2))				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国 名	金額 (千米ドル)	拠出率(注3) (%)	当該年度の収入 579,783千米ドル	
1位	米国	647,674	14.2	当該年度の支出 258,149千米ドル	
2位	サウジアラビア	379,778	8.4	次年度への繰越 321,634千米ドル	
3位	日本	324,600	7.1	会計検査機関名	
4位	ドイツ	295,873	6.5	Pricewaterhouse Coopers	
5位	オランダ	224,650	4.9		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
IFADは、開発途上にある加盟国の農業開発のために、緩和された条件で資金の融資を行う国際金融機関である。他の開発援助機関と異なり、開発途上国の地方部において、コミュニティベースのプロジェクトやマイクロ・クレジットの供与等草の根レベルの貧困削減のための活動を行っている点に独自性と比較優位がある。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
開発効果向上のための行動計画を策定し、IFADの役割と焦点の明確化、比較優位に基づいた開発効果の向上に努めており、DAC等においても援助効率の高さについて、高い評価を受けている。					
邦人職員数	4人		当該機関全体の職員数	485人	
うち幹部以上	うち 1人		及び邦人職員が占める率	0.82%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
財務官		城谷 宗彦			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
機会を捉えてIFAD幹部に対して邦人職員の採用や昇進の積極的働きかけを実施。					

(注1)IFADについては、約3年に一度の増資協議ごとにレートが定められている。

(注2)2007年12月現在。

(注3)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。